FlatWorker SE

大貼りソフトウエア

Trueflownet

刷版設計から加工機のオペレーション簡略化まで強力にサポート!!

大貼りソフトウエアFlatWorker SE（フラットワーカーSE）は、Trueflow SEに対して大貼り情報を指示するソフトウエアです。PDF/X-4対応の次世代プリントエンジン「Adobe PDF Print Engine」を搭載したTrueflow SEとの連携をさらに強化し、JDF-JOBを新たにサポートしました。
大貼りからパッケージレイアウト、殖版データの作成、カラーバーや各種アクセサリーのレイアウト情報の配置など、圧倒的な機能の充実と操作性を誇り、幅広くワークフローシステムをサポートします。

最適なCTPワークフローを構築

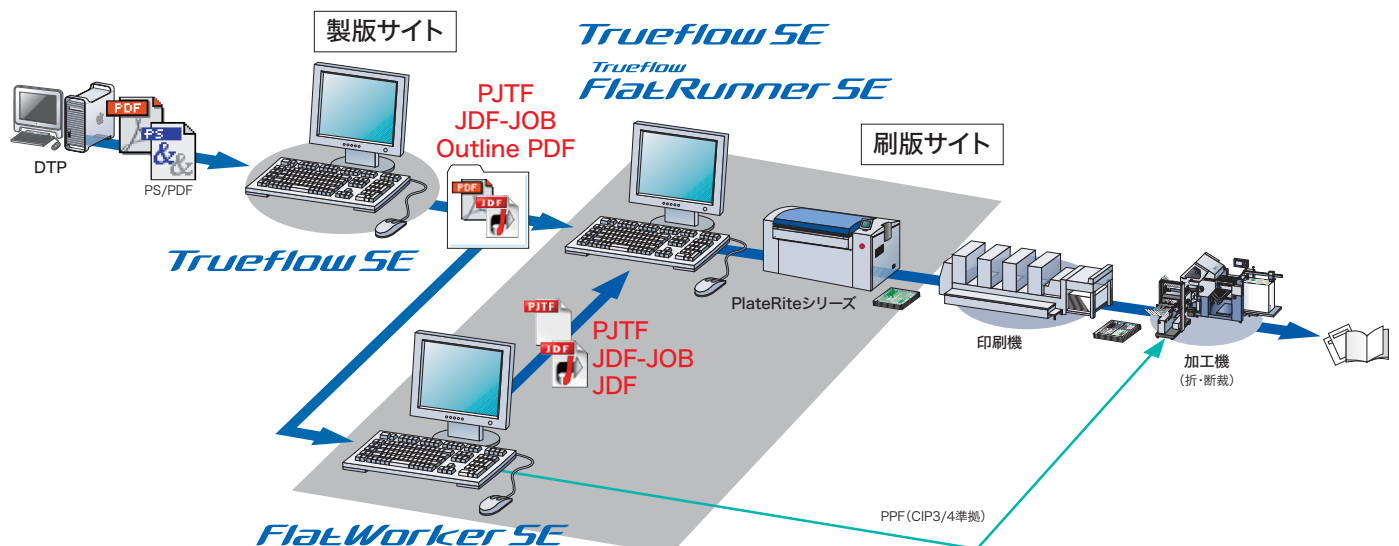
従来工程から簡単にステップアップ

FlatWorker SEを刷版部門に設置すれば、従来工程の製版、刷版・印刷の役割分担をそのまま継承して、刷版のサイズに最適な大貼り指示が最適な場所で行えるワークフローを構築します。

進化したTrueflow SEの2サイト運用に貢献

FlatWorker SEは、RIPパラメータやOutline PDFのバージョン情報などを保持したままJDF-JOBを大貼り面付けできます。製版サイトで作成されたデータの情報は、印刷品質を損なうことなく刷版サイトのTrueflow SEへ出力が可能です。
また、大貼りしたポータブルジョブおよびJDF-JOBに出力チケットを付けて出力指示を行うことにより、2サイト間のJDF運用にも対応しています。

各種ワークフローに柔軟に対応（オプション）

●マルチページのPDFをページ単位で大貼りできます。また、折りテンプレートに対して、ページの流し込みも可能です。
●Facilisの面付け情報を受け取り、刷版上に大貼りできます。
●ページ単位の1bitTIFFを刷版上に大貼りできます。
●パッケージの多面付けCADデータを大貼りし、簡単な操作で流し込みができます。
●自動処理ファイル（*fwc）を作成することにより、刷版設計からプレート出力までを自動化します。

最適作業を支えるさまざまな機能

刷版設計

用紙やプレートからの仕上がりのはみ出しや、付け合わせたもの同士の重なりなどのチェックを自動で行い、重なった部分を表示します。輪転印刷機に対応し、中心振り分け配置が可能です。

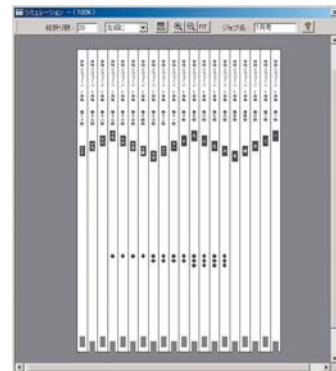
テンプレートの設定

プレート、用紙、折りやページの配置位置や方向なしをテンプレートに登録し、作業の操作性の向上を図っています。面付け折りパターンファイルから大貼り用のテンプレートを作成できます。

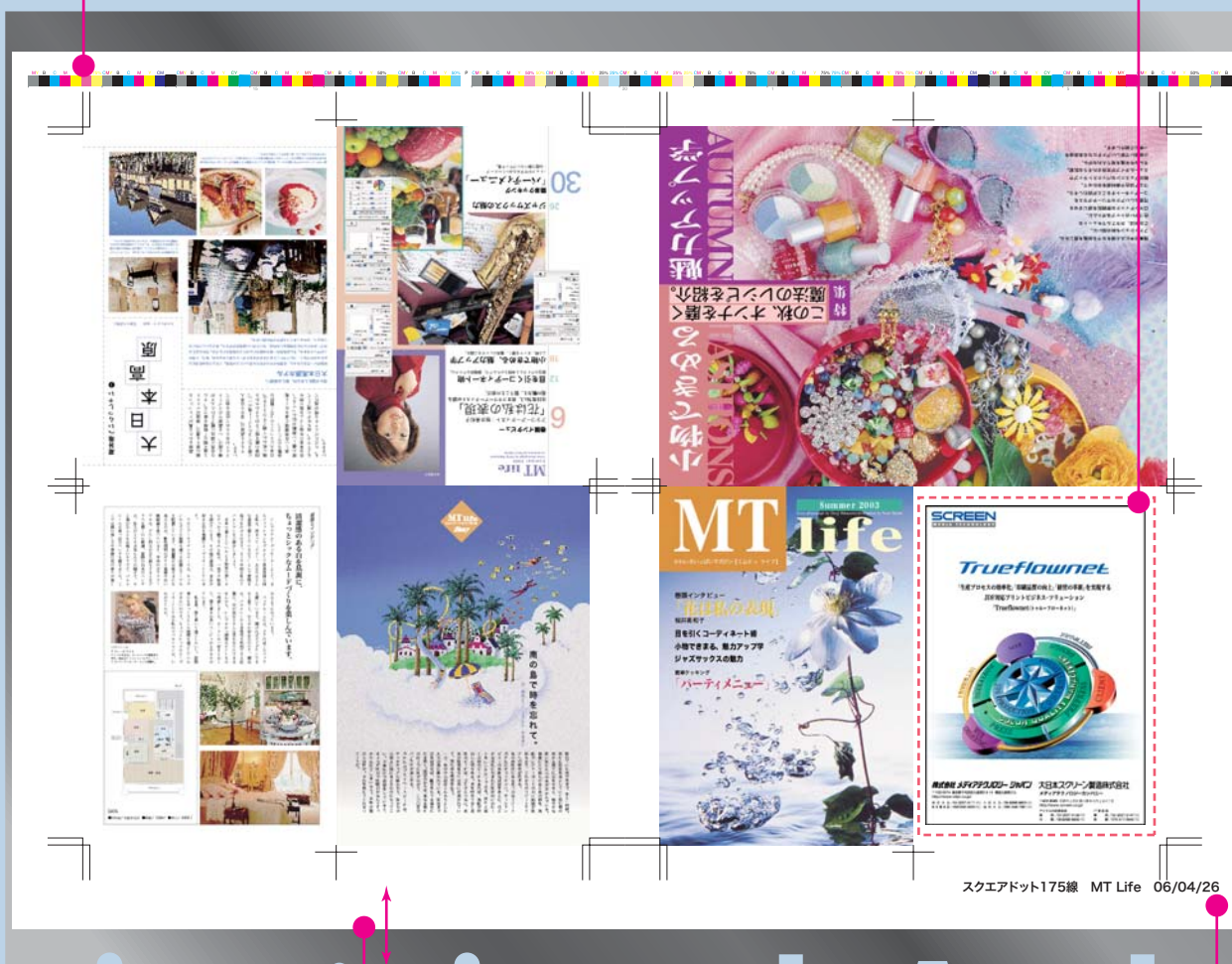
アクセサリーの設定

色玉、台番号、印刷マークなどのアクセサリーは、EPSファイルを取り込んで、プレートや用紙の上に配置可能です。ブリード量の変更に応じて連動するトンボを作成できます。

背丁／背標の編集・シミュレーション

テキスト、変数、図形を組み合わせて背丁/背標/袋票を編集し、シミュレーション表示で簡単に確認できます。繰り返すアイテムは、繰り返しを設定し、簡単に設計できます。コピー設定できるので、背標に「V型」「逆V型」を容易に作成できます。

カラーバーなどのアクセサリー類の編集が可能

ページ単位の差し替えが可能

スクエアドット175線　MT Life　06/04/26

紙くわえ寸法の設定が可能

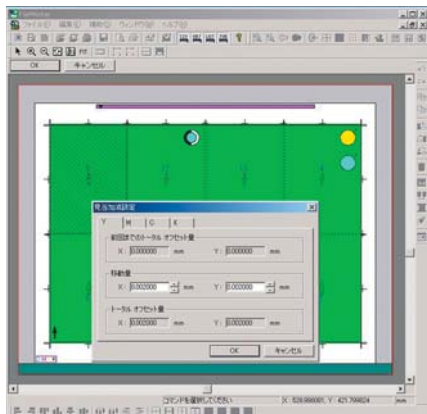
網の種類、Job 名、日付などのインフォメーションファイルの作成・編集が可能

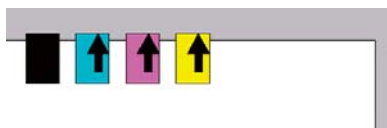
操作性が高く、編集や面付けもスムーズ

ページ編集

FlatWorker SEで大貼りされたデータは、Trueflow SEと連携し、ページ単位で編集が可能です。これにより、RIP処理後に修正ページが発生しても、修正ページのみRIP処理をして差し替えることが可能。RIP 処理後のデータは、プレート、プルーフ、およびWindowsプリンタ(Spooler 使用)に出力できます。

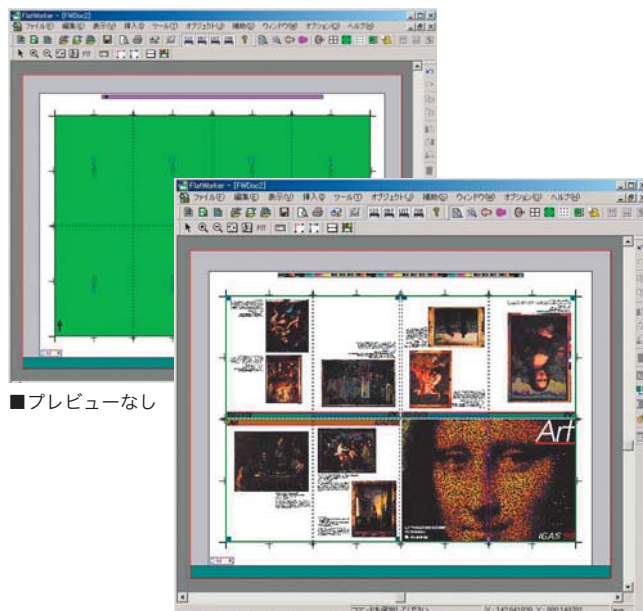
加減焼き対応

本機印刷での用紙の伸びなどによる見当ズレに対する見当加減焼きと、調子を合わせるための調子加減焼きの指示が可能です。版ごとに、見当加減や調子加減をページ単位で設定できます。

使用版マークで脱版防止

大貼りファイルに使用されている色版情報を自動識別し、脱版防止のための使用版マークを作成します。配置位置や大きさ、使用する版の選択や順番なども指定可能です。

プレビュー画面

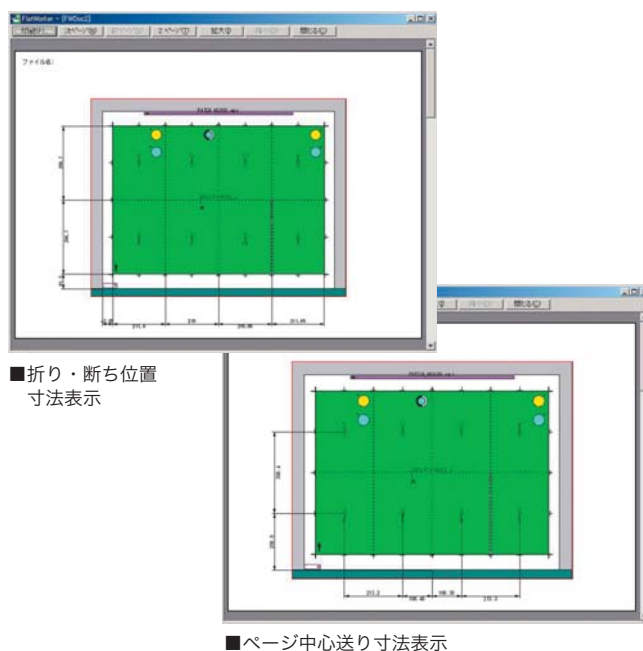
大貼り後のページの配置状態を画面で確認できます。

■プレビューなし

■プレビューあり/仕上がり枠表示あり

プリントプレビュー画面

折り機や断裁機がCIP3/4に対応していない場合でも、折りや断ち位置の寸法をプリンター出力してオペレーターに渡せることで作業効率がアップします。

■折り・断ち位置
寸法表示

■ページ中心送り寸法表示

殖版機能

パッケージの殖版はもちろん、同一のデータを多面付けするハガキや名刺なども殖版機能を活用することで、効率良く正確な殖版データの作成が可能です。

■パッケージ殖版のオペレーション

❶ 一面図形を取り込んで殖版モードへ移行
CADやEPSの一面図形をFlatWorkerに取り込んで、殖版モードに切り替えます。

❷ ステップ&リピートの方法を選択
間隔：パッケージ同士の間隔を指定するときに選択します。
送り：パッケージの中心位置から次のパッケージの中心位置までの距離を指定するときに選択します。

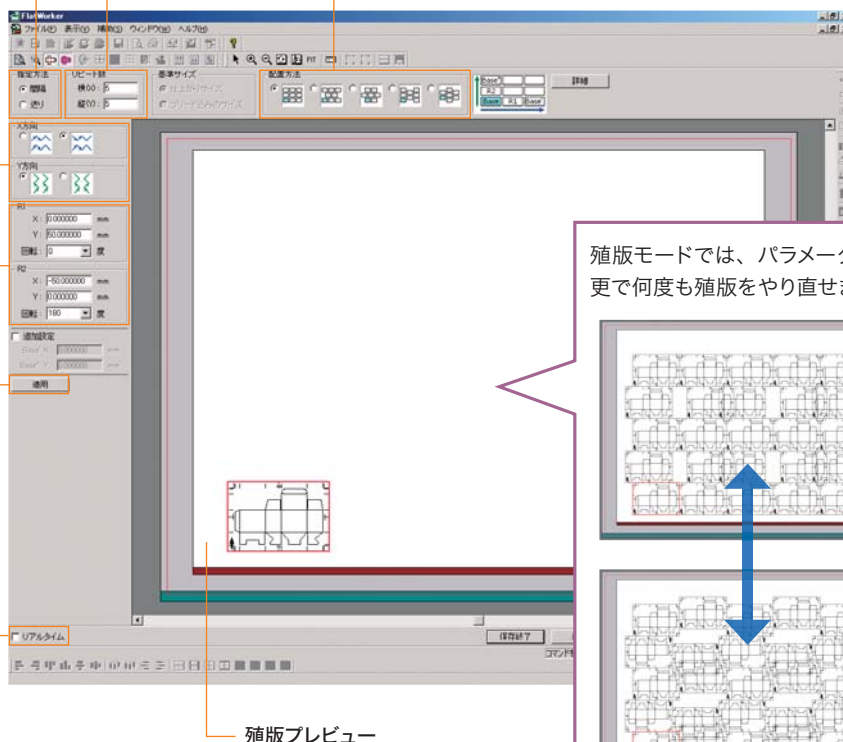
❸ リピートするパッケージの個数を指定
横・縦方向に展開（リピート）するパッケージの数を指定します。

❹ 配置パターンを選択
同数の配列を繰り返すパターンや、偶数列の個数を一つ増やす、一つ減らすとったパターンの候補から選択します。

❻ ジグザグ配列の指定
パッケージをジグザグに配置するときに指定します。（X方向をジグザグ配列するには、「R1」の「Y:」にシフト量を入力します。Y方向をジグザグ配列するには、「R2」の「X:」にシフト量を入力します。）

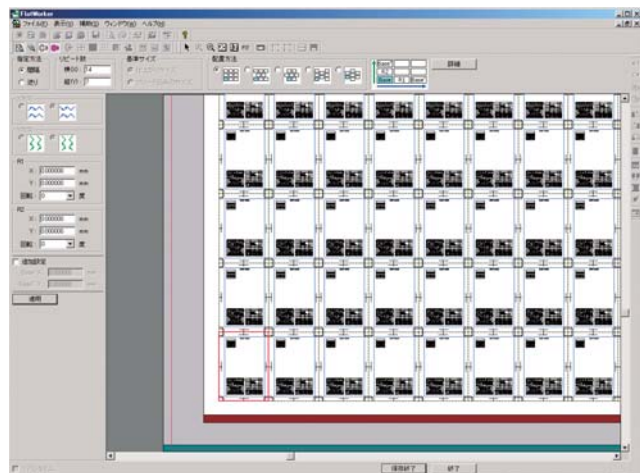
❺ パッケージ間の距離や回転を指定
手順の1で指定したステップ&リピートの方法にしたがって、隣接するパッケージ間の距離を指定します。また、角度を指定して偶数行（X方向）、偶数列（Y方向）のパッケージを回転できます。

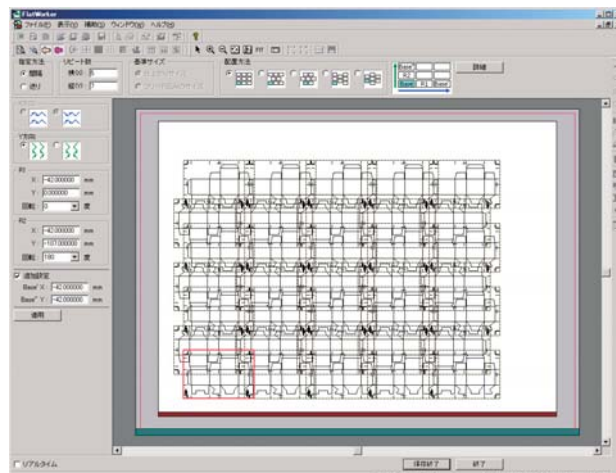
❼ 殖版の実行
リアルタイム表示OFFのときは、各パラメータを設定して［適用］をクリックすると、殖版プレビューに設定したパラメータが反映されます。

リアルタイム表示
変更したパラメータの内容が、即座に殖版プレビューへ反映されます。

殖版モードでは、パラメータの変更で何度も殖版をやり直せます。

殖版プレビュー

ハガキの殖版サンプル

ステップ&リピートの簡単操作で、ハガキや名刺、DMなど、あらゆる商業印刷の殖版データを作成できます。

パッケージの殖版サンプル

パッケージの大きさや形状に合わせてパラメータを設定することで、無駄のない殖版データを作成できます。

パッケージのデジタルワークフローを構築(紙器対応オプション)

CAD

DTP

PDF

Trueflow SE

PlateRiteシリーズ

紙器設計

単面設計と殖版設計をします。

デザイン

ワークフローRIP

CTP

PJTF
+
Outline PDF(一面データ)

Outline PDF

FlatWorker SE
MasterFile Editor

丁番

DXF、CFF2、DDES2、EPS※

データの取り込み

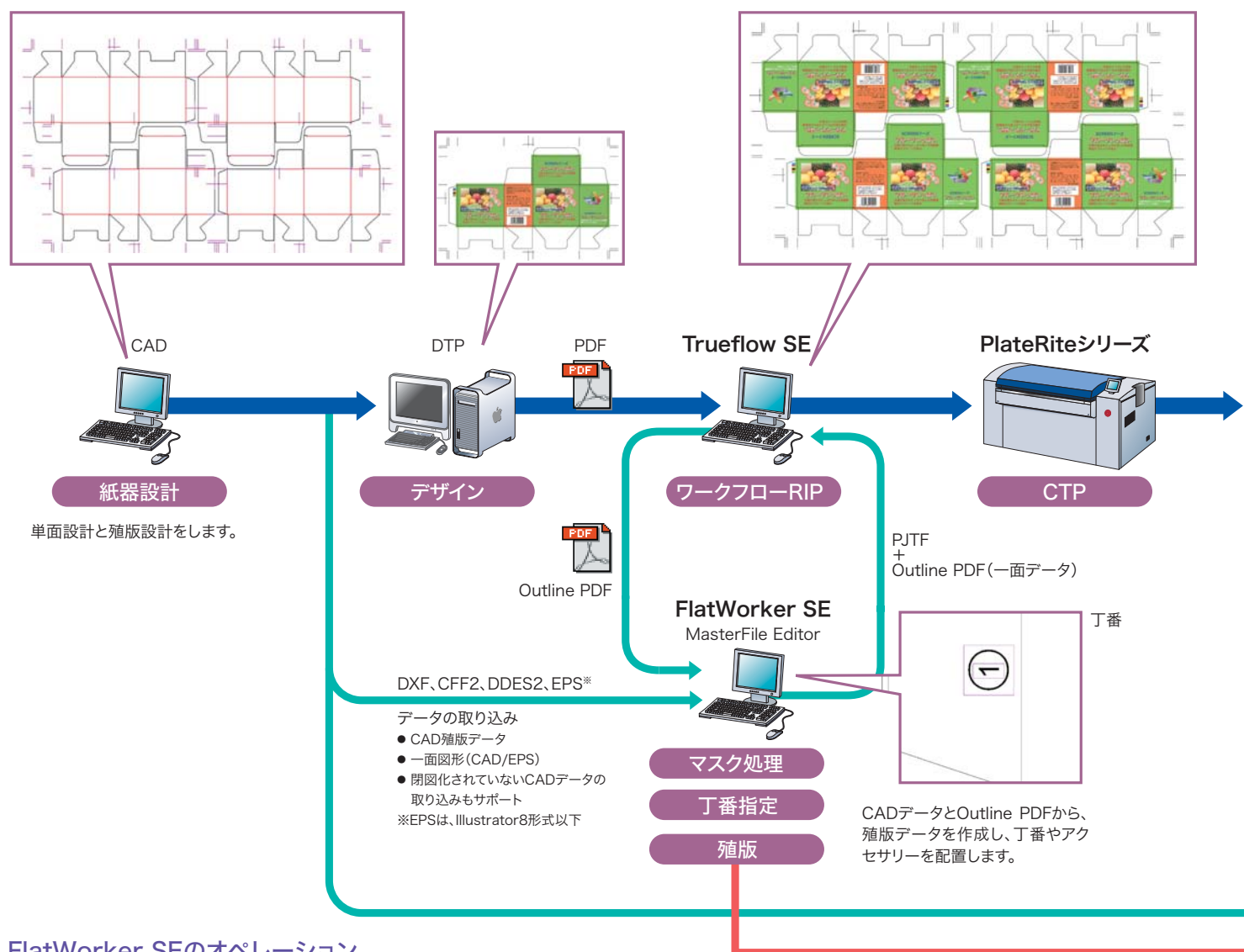
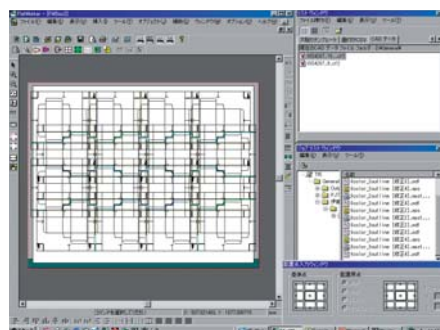
- CAD殖版データ
- 一面図形(CAD/EPS)
- 閉図化されていないCADデータの取り込みもサポート

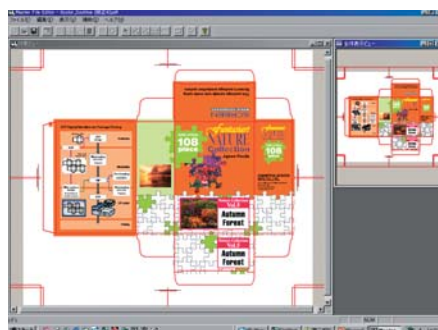
※EPSは、Illustrator8形式以下

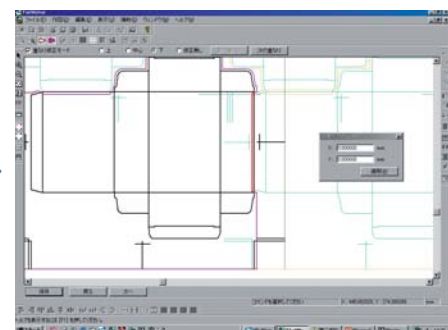
マスク処理

丁番指定

殖版

CADデータとOutline PDFから、殖版データを作成し、丁番やアクセサリーを配置します。

FlatWorker SEのオペレーション

CADデータを読み込み

FlatWorker SEでは、抜き木型に使用するCADデータを読み込み殖版を行います。抜き木型のデータを使うため、精度の高い殖版が可能です。

CADから自動抽出した単面情報とOutline PDFの合わせ込み

抜き木型のCADデータから自動で単面データを抽出し、Trueflow SEから転送したOutline PDFデータを合わせ込みます。

自動マスク作成とマスクの編集

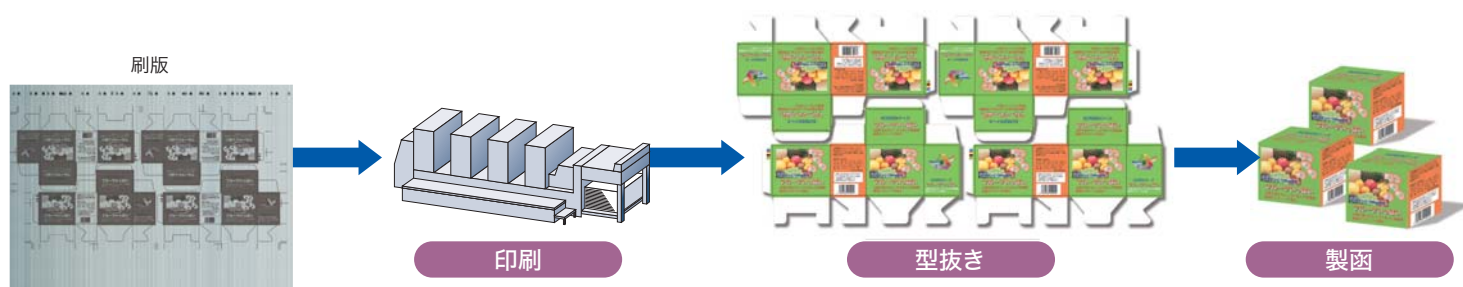
マスクの重なった部分を自動で抽出し、重なり部分の上下関係を指示する重なりマスク作成や、一刀裁ちマスクの編集を容易にするマスク作成(指定領域除外)機能でマスク編集を行います。

パッケージ特有の殖版に対応

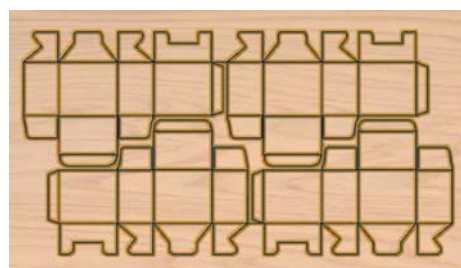
パッケージでは、入れ子など複雑な殖版に対応する必要があります。FlatWoker SEでは殖版機と同様の発想で配置でき、柔軟に対応します。殖版時に、デザイン時に付加されているトンボやアクセサリーが仕上がり部分に重なってしまう場合でも、あらかじめマスク指定し、仕上がりに重ならないようにします。

丁番アクセサリー対応

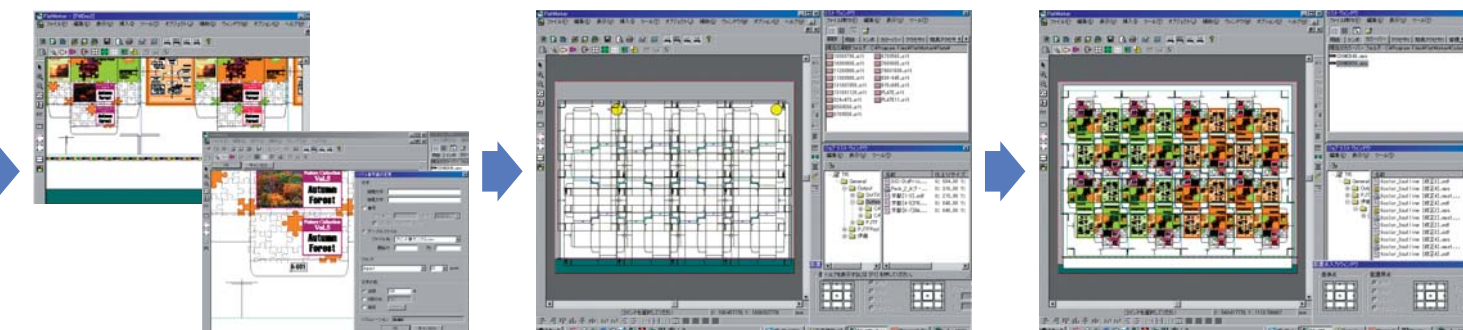
品質管理のためにすべてが同一デザインであっても、それぞれに番号を付加するなど、個別データとして扱う必要があります。FlatWoker SEでは、1面に対して丁番（数字）とコメント（固定）を設定配置すると、自動的に殖版データに反映します。また、のりしろ、フラップなど複数個所に配置も可能です。

用紙の所定の位置にアクセサリーを配置する場合でも、版基準、用紙基準、オブジェクト基準で、正確な数値で配置します。

印刷機の稼働率がアップ小ロット印刷において効果を発揮

●大日本スクリーンのCTPはインラインでパンチをあけ、パンチ基準で露光。見当精度に優れ、印刷機での一発見当を実現します。

●Trueflow SEからのインキつぼデータにより、安定した印刷機のコントロールが可能になります。

抜き木型

DXF、CFF2、DDES2、EPS
データの出力

● 取り込んだ一面図形を殖版データとして出力。
抜き木型に活用可能。
● EPSのデータ出力もサポート

カラーバーなどのアクセサリー配置や丁番の自動配置

FlatWorker SEは、1面に対して丁番を指定すると、自動的に殖版データに反映します。また、エクセルのCSVデータを読み込み、殖版データに丁番指定できます。

加減焼き対応

印刷時での用紙の伸びなどによる見当ズレに対する見当加減焼きと、調子を合わせるための調子加減焼きの指示が可能です。出力する版ごとに、見当加減や調子加減を面単位で設定できます。

紙器大貼り完成画面

完成画面はプレビュー表示で確認可能。付け合せも一目で確認できます。

FlatWorker SEからTrueflow SEのチケットを編集し、特定版の網種を変更できます。

後工程の効率化を促進(断裁機対応オプション)

FlatWorker SEは、折り方向(Leftup)、紙サイズ、紙に対する仕上がり位置などを入力します。このデータをPPFデータに変換し、後加工機へ転送します。後加工機では、PPFデータを読み込み自動的に初期値がセットされます。

オペレータは紙の伸び縮みなどの固有のマージンを追加設定だけで、加工をスタートでき、入力違いなどのオペレーションミスが激減します。また、ヤレ紙の枚数が減り、コスト削減を実現します。

面付け・大貼り
刷版・印刷
折り・加工

Trueflow SE
FlatWorker SE
PlateRite
印刷機
加工機
PPF

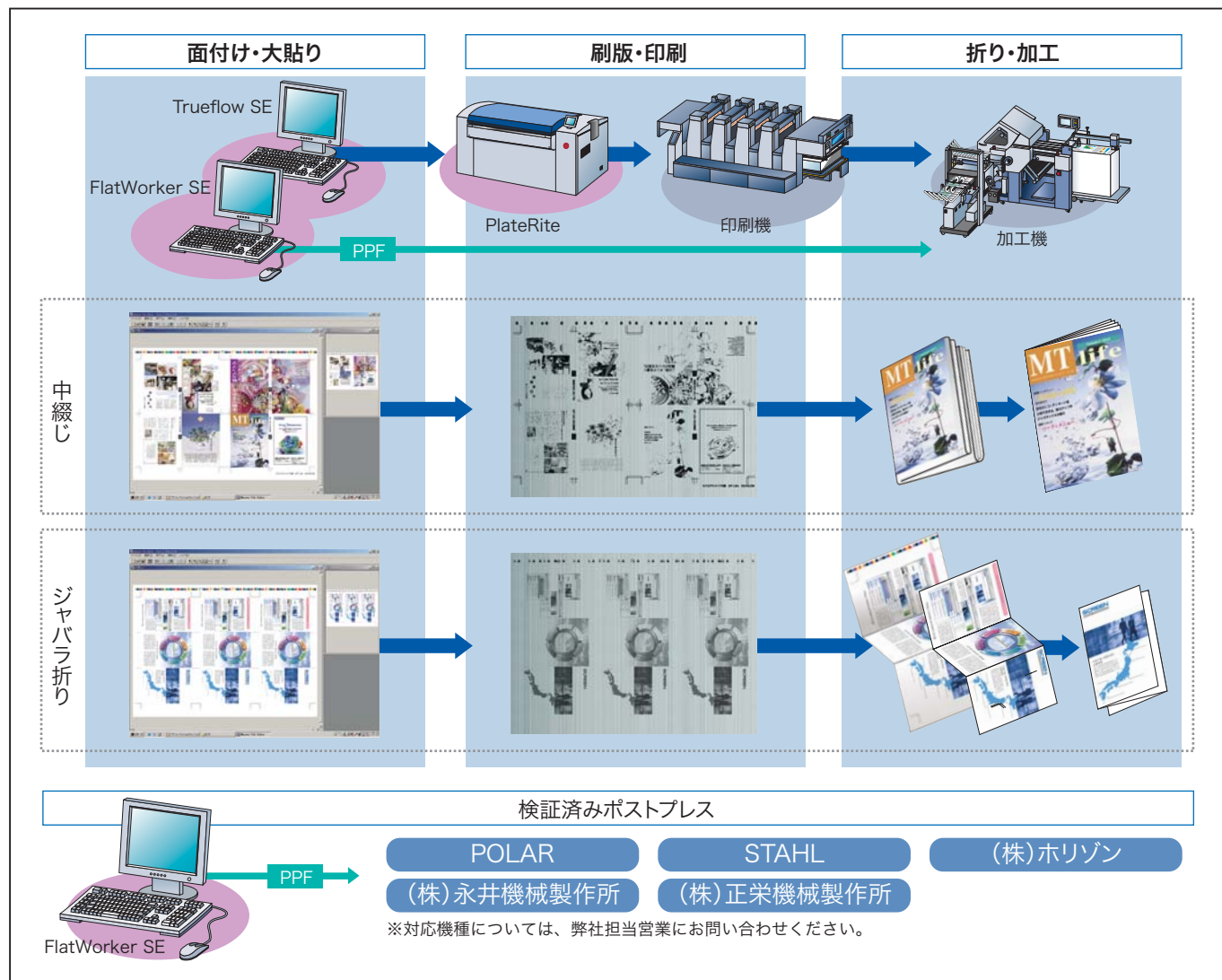
中綴じ

ジャバラ折り

検証済みポストプレス

FlatWorker SE
PPF

POLAR
STAHL
(株)ホリゾン
(株)永井機械製作所
(株)正栄機械製作所

※対応機種については、弊社担当営業にお問い合わせください。

大日本スクリーンは、印刷業界を取り巻く3つの重要な課題を解決するため、「Trueflow Suite(トゥルーフロースイート)」「Color Suite(カラースイート)」「Rite Suite(ライトスイート)」という3つの技術のコアをベースに製品展開しています。
FlatWorker SEは、Trueflow Suiteの分類に含まれます。

本カタログは、100%再生紙を使用しています。

注意 ご使用の前には、取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

株式会社 メディアテクノロジー ジャパン

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル
http://www.mtjn.co.jp/

東 京 支 店／03(3237)3111(代) 大 阪 支 店／06(6268)6600(代) 名古屋支店／052(218)6400(代)
福 岡 支 店／092(436)7081(代) 北海道営業所／011(726)0707(代) 東北営業所／022(224)1741(代)
新潟営業所／025(241)0112(代) 静岡営業所／054(281)0955(代) 長野営業所／026(224)5770(代)
金沢営業所／076(292)2345(代) 京都営業所／075(671)1145(代) 中国営業所／082(264)6451(代)
四国営業所／087(837)8151(代)

大日本スクリーン製造株式会社 メディアテクノロジーカンパニー

〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目
http://www.screen.co.jp/

No.106-195 2007年8月発行 060FSI(R0-0)